

外国語図書の書誌作成を学ぶ（英語編）

1 はじめに

現在、埼玉県内在住の外国人は165か国、26万人以上に及び、今後ますます外国人利用者が増えることが考えられます。すべての住民に対し、公平で平等な図書館サービスを提供するために多文化サービスを充実させる必要があります。

この講座では、埼玉県立図書館における外国語図書の書誌作成の概要と、英語で書かれた図書の書誌作成についてご紹介します。

2 埼玉県立図書館における外国語図書の書誌作成

埼玉県立図書館では、『洋書目録法入門 つくり方編 改訂版』（丸山昭二郎 編 日本図書館協会 1990）、『洋書目録法入門 マニュアル編』（丸山昭二郎 編 日本図書館協会 1988）等を参考にマニュアルを作成し、書誌作成に取り組んでいます。

基本的な方針として、その言語を母語とする方が探しやすく、かつ、その言語を不得意とする職員が探しやすくなるような書誌作成を目指しています。また、原則として本体の表記どおりに記述します。

（1）記述の情報源

- ・タイトルと責任表示（タイトル、タイトル関連情報（副書名等）、著者名（典拠登録））
→ タイトルページ
- ・版、出版、頒布など（版表示、出版地、出版者（典拠登録）、出版年）
→ タイトルページ、奥付
- ・形態的記述、シリーズ（ページ数、大きさ、シリーズ名）
→ 当該出版物全体
- ・ISBN、注記、入手条件（ISBN、注記、本体価格）
→ 図書本体以外も含めた情報

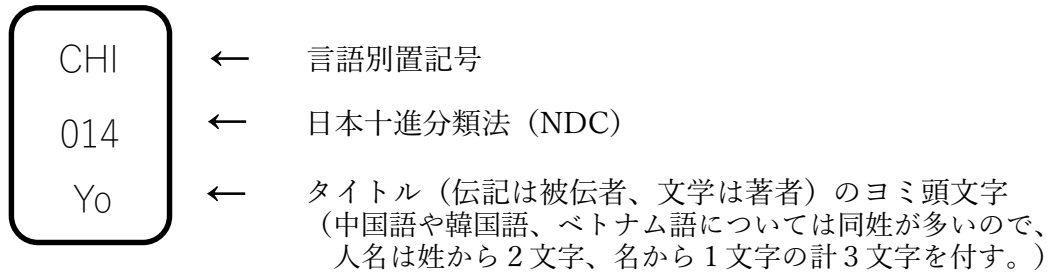
（2）件名とNDC分類

- ・日本語の資料と同様に、資料の内容・自館のコレクションとの整合性を鑑みて判断する。
- ・日本語訳されているもの、日本語が原書のものはそれに沿う。

（3）言語区分

- ・本文の言語で区分する
- ・二言語併記の場合は日本語でない方の言語を選択する。
- ・三言語以上の場合は日本語以外の言語で本文の登場順に登録する。

(4) 請求記号



・言語別置記号：各言語名の英語表記から頭文字3文字（英語は無印）

例	言語名(日本語)	別置記号
	英語	無印
	中国語	CHI
	韓国朝鮮語	KOR
	ベトナム語	VIE

3 英語で書かれた図書の書誌を作る

(1) ISBN

- ・外国語の入力が難しい場面でも、ISBN を使えば簡単に資料を検索することができる。
- ・ISBN は奥付や裏表紙に記載があることが多い。

(2) タイトル

- ・本文の言語と同じ言語の、全体をとらえるような言葉を採用する。例外もあるが、大きなポイントで表示されている言葉を優先する。
- ・原則として表記どおりに入力する。
- ・大文字の使用法は当該言語の慣行に従う。
- ・ヨミは a, the などの冠詞を省いた形で入力している（埼玉県立図書館では文学や伝記などを除いて、請求記号にタイトルヨミの頭文字2文字を入力しており、冠詞を含めると多くの資料が冠詞から始まる記号を付することになってしまうため）。また、アラビア数字は、アルファベットに直して英語のヨミを入力する。

(3) タイトル関連情報（副書名等）

- ・タイトルページ上にある、タイトルに関連して、その前後に記載されている語句などを入力する。
- ・記述のルールはタイトルと同じ。

(4) 著者名等

・「by (日本語で「著」のようなもの)」等の責任表示があれば、原則表記どおりに入力する。

・責任表示がなければ、[] で補記する。

例) Emily Levesque / [by]

Haruki Murakami / [by]、 Philip Gabriel / translated by

* 典拠

・典拠データを作成し書誌データにリンクさせることで、資料の的確な検索が可能になる。例えば、著者名の典拠を登録することで、同著者の著作を表記に関係なく、もれなく検索することができる。

・職業や生没年、本名に関する情報などが分かれば、それぞれ注記欄に入力する。同姓同名でも著者の同定がしやすくなる。

例) 統一形: Levesque Emily (レヴェック エミリー) → 姓名順

参照形: Emily Levesque (エミリー レヴェック) → 名姓順 (表記どおり)

日本語 (原書) と英語の著作を所蔵している場合

統一形: 村上 春樹 (ムラカミ ハルキ) → 原書表記

参照形: Murakami Haruki (ムラカミ ハルキ) → 姓名順

参照形: Haruki Murakami (ハルキ ムラカミ) → 名姓順 (表記どおり)

韓国語 (原書) と英語の著作を所蔵している場合

統一形: 초 남주 (チョ ナムジュ) → 原書表記

参照形: Cho Nam-Joo (チョ ナムジュ) → 英語表記 (表記どおり)

参照形: チョ ナムジュ (チョ ナムジュ) → 日本語表記

(5) 版表示

・標準的略語を使用し、語の代わりにアラビア数字を使用する。

例) second edition → 2nd ed.

(6) 出版事項 (出版地、出版者、出版年)

・同じタイトルの図書でも、版が異なるかどうかは出版事項によって識別できることが多い。

・出版地は出版者の本拠の所在地

・出版者名は原則として、識別が可能な限り、簡潔な形で入力する。

例) Oneworld Publications → Oneworld

・出版年は西暦をアラビア数字で入力する。月まで記載があれば、ピリオドの後に続けて入力する。 例) APRIL 2022 → 2022. 4

・出版年がわからない場合は、著作権登録年を入力する。それも表示されていない場合は、製作年を入力する。 例) 著作権登録年→ c 2006 製作年→ 2006 printing

(7) ページ数

- ・テキストの量を示す以外にも、同じ版かどうかを見分けるという用途もある。
- ・実際のページ数を数えて記録するのではなく、最後に印字されているページ数を記録する。
- ・ページ付がいくつかに分かれているときは、そのわかれている部分ごとにコンマで切って入力する。 例) x v i , 3 1 3 p

(8) 大きさ

- ・図書の高さをセンチメートル単位で入力する。端数は切り上げる。
- ・図書の幅が高さの半分以下か、または高さ以上あるときは、「高さ×幅 cm」形式で入力する。

(9) 注記

- ・項目はなくとも入力すべき情報は、注記に入力することでカバーする。
- ・言語に関わらず、洋書は記述に英語を使用する。
- ・埼玉県立図書館では、より資料を探しやすく、また同一版かどうかを確認しやすくすることを意識して注記を入力している。

タイトルに関する注記

・日本語に翻訳されている場合、その書名を入力する。未邦訳であれば、書名直訳を入力する(直訳の場合、ヨミは入力しない)。「日本語訳書名:○○○○」「書名直訳:○○○○」

・翻訳書であれば、「原書のタイトル. 翻訳言語」を入力する。

例) 『一人称単数』の英訳版 → 「一人称単数. English」

版に関する注記

・同じ版かどうか、判断の手がかりとなる情報を入力する。

例) First published in Great Britain and Ireland by Oneworld Publications, 2020

内容に関する注記

・書誌 (Bibliography)、参考文献 (References)、索引 (Index)、用語集 (Glossary) などがあれば入力する。 例) 「Includes index.」、「Includes glossary and index.」

内容細目に関する注記

- ・1冊の図書のなかに複数の著作が含まれている場合は、各タイトルを入力する。
- ・著作ごとに著者が異なれば、著作名の後ろにスラッシュを入れて各著者名も入力する。
- ・文のはじめに「Contents:」を入力し、著作ごとにピリオドと半角スペースで切る。
例) Contents:_Too much about too many_/_Eitaro Ishizawa._The cooperative defendant_/_Seicho Matsumo to. (_は半角スペース)

言語に関する注記

- ・二言語併記など、その図書の言語について必要があれば入力する。
例) 英仏併記 → Text in English and French

(10) 入手条件（定価等）

- ・記載があれば入力する（所蔵登録の際には、日本円での実際の購入価格を入力している）。

4 参考になるウェブサイト

世界にはいろいろな図書があるため、書誌を作成しているとき、迷うこと、悩むことは多くあります。そんな時は、他の図書館の書誌を参考にしてみましょう。

- ・NDL サーチ <https://ndlsearch.ndl.go.jp/>
- ・CiNii Books <https://ci.nii.ac.jp/books/>
- ・WorldCat <https://search.worldcat.org/ja>
- ・各国の国立図書館の目録

例) Library of Congress Catalog（アメリカ議会図書館）<https://catalog.loc.gov/>
British Library Catalogue（大英図書館）<https://www.bl.uk/>

- ・書店のウェブサイト

5 おわりに

埼玉県立熊谷図書館の多文化サービス担当では、県内図書館等の多文化サービスを支援し、多文化サービスの普及に日々努めています。困ったことや、わからないことがあれば、ぜひご相談ください。

埼玉県立熊谷図書館 多文化サービス担当
TEL：048-523-6291 FAX：048-523-6468
email：lib-kaigai@pref.saitama.lg.jp